

木保存にも限度があり、公園の方でも計画標準なるものを作り、極力保存すべき樹木群を決め、努力しているようですが、それさえも実際に工事をする段になって資材を運ぶのに邪魔になったり、また駐車場不足のために切られたりして、さらに緑が少なくなっていることがわかりました。

国際的な頭脳都市とか緑と太陽の町などのうたい文句や近代的なビルのならば完成模型を見て、バラ色の未来都市を期待して、現在の不便な状態をじつとがまんしてきた私達ですが、実際の実施計画ははつきりせず、建設する主体もはつきりしていないし、財政負担の方針も確立していないという頼りない実情を知って、黙って待っていたのではこのような都市が建設される保障はないことに愕然とし、少しでも住民の声を反映させようと少しずつ行動をはじめました。

まもなく住宅に隣接して幼稚園、小、中学校が開校することになりましたし、公園もまもなく完成と少しずつよくなつてはおりますが、もう二年もたちますのに、人口もそれほど増えず、したがっていまだに診療所、保育所、店舗類、文化施設などにも不自由し、今やきれいな空気もなく、工事の騒音と、ほこりのもとで暮らしてあります。多くの研究教育機関を計画的に移転することによ

って総合的な新都市を建設するというのは、世界にその例をみないようですが、建設に携わる関係官庁の方々に是非、既成のワクにとらわれない、少しでも理想に近い環境の町づくりをするという意欲をもって都市建設をすすめていただきたいと思えます。
(主婦)

子どもまつりの むなしきとうじろめたき

奥井登美子

……この「ひろば」で、たった一日だけですが、自動車の危険や、自然破かいを忘れた自由でのびのびした手づくりのあそびを実現しようではありませんか……

こんなよびかけを行った子どもまつりで、自然を守る会のメンバーが大活躍した。別に会として参加したわけではなかったが、昨年子どもまつりに佐賀さんが委員長を引き受けて以来のごえんである。

準備の段階から、ネコの手も借りたい忙しさだから、自然が好きで、子ども好きで、その上、労をいとわないで、手弁当でやってくれて、少々器用で、多少オッチョ